

(別添 3)

【五ヶ瀬町】 校務 DX 計画

1. 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリストに基づく自己点検結果」(文部科学省令和 6 年 12 月)における、本町分を数値化した結果を見ると、職員会議のペーパーレス化や統合型校務支援システムの活用などでは、一定の成果が見られた。しかし、クラウドツールを活用した地域及び保護者との連絡体制の充実や日常の業務に FAX を使用していること、生成 AI を校務で活用すること等が課題となった。

そこで、以下の 2～4 の取組を重点取組事項とし、校務 DX を一層推進するものとする。

2. 汎用クラウドツールの一層の活用について

本町が主催する教職員研修会において、汎用クラウドツールを活用することで業務効率化を図っている。今後、様々な実践を共有することで活用を推進していく。また、セキュリティ対策については、ICT 支援員との連携を図るとともに、教職員が教育情報セキュリティポリシーの理解度を高める取組を一層推進していく。

学校からの配付文書やアンケートについては、各学校でデジタル化を図っている。ただし、アンケート回答回収率が低くなっているものもあるため、管理職とともに、効果的な活用方法を検討していく。

3. FAX・押印の見直しについて

校務のさらなる効率化を図るためにも、FAX や押印等についての制度・慣行の見直しを行うとともに、関係団体にも見直しを図っていくよう働きかけを行う。また、押印については、学校管理職と共通理解し、取り組めるものから漸次改善を図る。その際、業務の効率化だけでなく、報告・連絡・相談体制による業務の正確性も改善の視点に加えて、取組を推進していく。

4. 校務における生成 AI の活用について

業務の効率化や質の向上を図るため、生成 AI の校務における活用について、先行実践例などの情報を学校に提供することや教育委員会及び学校管理職で協議を行い、可能性を検討していく。

5. 今後の計画目標

- 汎用クラウドツールの活用研修について (R 7 年度～・全職員対象)
- FAX・押印の見直しに係る実態把握 (R 7 年度・校長会等)
- // 関係団体への働きかけ (R 8 年度～)
- 公務における生成 AI の活用に係る情報提供及び協議 (R 7 年度～・校長会等)